

取扱説明書

BATTERY CHARGER

RC-100

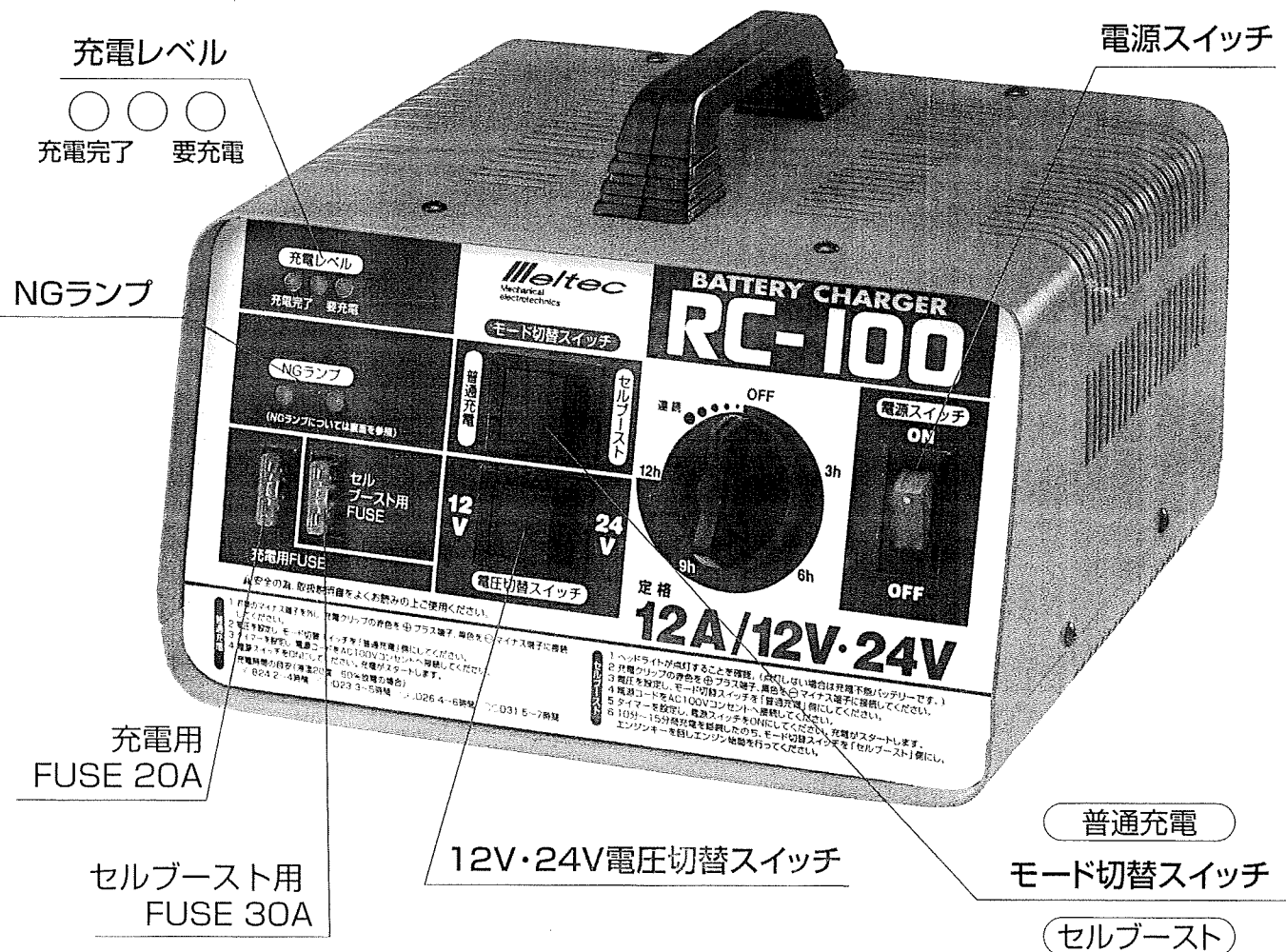
12Vバッテリー(開放型)用 ENGINE 始動補助(セルブースト)機能

この度は、バッテリー充電器RC-100をお求めいただきましてありがとうございます。

この「取扱説明書」はRC-100をご使用いただくためのガイドブックです。

弊社製バッテリー充電器を初めてお使いいただく方はもちろん、すでにご使用になられた経験をお持ちの方にも知識や経験を再確認をする上でお役に立つものと考えております。この「取扱説明書」を最後までよくお読みになり、内容を理解された上で正しくご使用くださいますようお願い致します。また、常にこの「取扱説明書」をお手元に置かれて作業をされることをお勧め致します。

各部の名称



充電レベル

○ ○ ○
充電完了 要充電

電源スイッチ

NGランプ

充電用
FUSE 20A

セルブースト用
FUSE 30A

12V・24V電圧切替スイッチ

普通充電

モード切替スイッチ

セルブースト

安全上のご注意

バッテリーチャージャー（充電器）を
**安全に正しくお使いいただくために
必ずお守りください。**

- ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- お読みになった後は本器のそばなど、いつも手元に置いてご使用ください。

（この取扱説明書に書かれている内容は、お客様が購入された商品の仕様には含まれない項目も記載されています。）

お買い上げいただいた製品（本器）本体表示および取扱説明書には、使用者や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本器を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を表示しています。

その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みになってください。



危険

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみ発生が想定される内容を示しています。

！ 危険

- 本器は「取扱説明書」に記載しているバッテリーの種類・公称電圧、および定格容量を対象とした充電器です。その他の用途には使用しないでください。
- 充電器が過熱・発火したり、バッテリーの液もれ・過熱・爆発の原因となります。
- 本器はAC（交流）100V入力専用ですので指定以外の電源電圧、および指定電圧以外のコンセントでは使用しないでください。
- 万一使用されますと、過熱・発火・感電・けがをすることがあります。
- 子供・乳幼児には手をふれさせないように注意してください。
- けがや感電したりすることがあります。
- 充電器の梱包用ビニールカバー（袋）はかぶると窒息する恐れがありますので、速やかに始末してください。
- タバコなど火の気のないところ、風通しの良いところでご使用ください。
- バッテリーが過熱・爆発することがあります。
- 壁・家具・柱に接近して使用したり、カーテンなどで充電器の通風孔をふさいで使用しないでください。
- 充電器が過熱し火災の原因となります。
- 木くず・可燃性オイルなど可燃物の周辺で使用しないでください。
- 火災の原因となります。
- 充電（密閉電池及び始動補助の補充電時は除く）する前に、必ずバッテリー液口栓（キャップ）を全部取外し、液口の上に締め付けずのせておいてください。
- 液口栓を閉めたまま、充電をするとバッテリーの爆発の原因となります。
- 電圧切換スイッチは充電するバッテリーの公称電圧に合わせてセットしてください。
- 異なった設定電圧で充電すると、充電器が過熱・発火したり、バッテリーが過熱・爆発することがあります。
《電圧切換スイッチ付機種の場合》
- エンジンの始動補助（セルブースト）位置での普通充電は本器故障の原因となりますのでおやめください。
- 充電器が過熱・発火したり、バッテリーが過熱・爆発することがあります。
《エンジン始動補助付機種の場合》
- エンジンの始動補助（セルブースト）として使用するときは、通電3秒以下・休止7秒以上で繰返し回数10回以下を厳守してください。
- 充電器が過熱・発火したり、バッテリーが漏液・過熱・爆発することがあります。
《エンジン始動補助付機種の場合》
- 充電クリップをバッテリーに接続するときは、必ず電源を切って（電源プラグがAC100Vコンセントより抜かれていることを確認して）から行ってください。
- 操作手順を間違えるとバッテリーが爆発することがあります。
- 充電クリップ接続は、必ず次の手順で極性に注意して行ってください。
《普通充電時》 1.充電器側 ⊕赤クリップ → バッテリー ⊕端子 2.充電器側 ⊖黒クリップ → バッテリー ⊖端子
- 確実に接続しなかったり、極性を間違えて接続した場合には、充電器が過熱・発火したり、バッテリーが過熱・爆発することがあります。
- 充電器の梱包用ビニールカバー（袋）は必ず取り外して、ご使用ください。
- 充電器が過熱し火災の原因となります。

安全に関するご注意

(1) 使用目的

バッテリー充電器RC-100は、家庭用AC100Vで12V、24V(12V×2)開放型バッテリーへの普通充電や、タイマー充電、始動補助(セルブースト)を行うものです。

※家庭用AC100V電源に接続されないと普通充電も、始動補助もできません。

※使用目的以外の使用は絶対にしないでください。

■適合バッテリー

〇〇B24(20) 〇〇D23 〇〇D26 〇〇D31 〇〇E41

※6Vバッテリーやシール型(密閉型)バッテリーへの普通充電やタイマー充電始動補助(セルブースト)はできません。
車載バッテリーの種類及び形式を確認してください。

(2) 機能説明

(1)の使用目的で説明しました様に、バッテリー充電器RC-100は、家庭用AC100Vで12V、24V(12V×2)開放型バッテリーへの普通充電や、タイマー充電、始動補助(セルブースト)を行うものです。

ここではその内容について説明いたします。

- ◆普通充電機能…… 自然放電や夏期でのエアコン使用等で酷使されて弱ったバッテリーを定期的な補充で最良の状態に回復しバッテリーの寿命を伸ばします。
- ◆始動補助機能…… バッテリーの充電量不足によるエンジンの始動困難時に、10分～15分の補充充電後、始動補助できます。
- ◆タイマー充電機能… 本器内蔵の充電タイマーでバッテリーの種類、バッテリーの状態に応じて充電時間をタイマーセット、セットされた時間だけ自動普通充電します。

※始動補助機能での普通充電及び、補充はできません。(4)のご使用方法の C.エンジン始動補助(セルブースト)の操作手順をよくお読みください。

(3) 仕様

交流入力	AC100V 50/60 Hz 506VA	
直流出力	普通充電時	DC13V 11.5A / DC26V 12.5A
	始動補助時	定格25A
適合バッテリー電圧	12V、24V	
適合バッテリー容量	30Ah～150Ah	
充電メーター	LEDで3段階表示	
入・出力コードの長さ	約1.4m	
外形寸法 (mm) ・重量	235 (幅) × 170 (高さ) × 222 (奥行) ・約7.3kg	
保護回路	入力側	ヒューズ (内蔵)
	出力側	ヒューズ (普通充電20A、セルブースト30A)

(4) ご使用方法

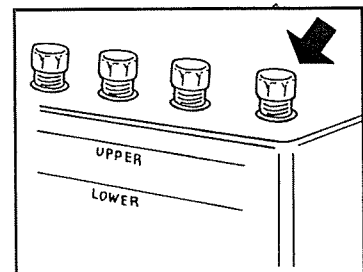
A. 充電するバッテリーの準備

バッテリーをお車から取り外し、適切な場所で行ってください。

バッテリーを取り外した場合、使用されている車上機器のメモリー等が消えることがあります。お車・機器の説明書をよくお読みの上、他のバッテリー等でバックアップすることをおすすめします。

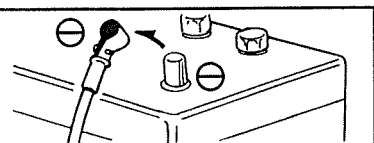
※安全液栓付バッテリー・液栓が外れないバッテリーを除く。

バッテリーの電解液量を点検し、液面線の間以下に低下している場合は最高液面線 (UPPER LEVEL) まで精製水を補充してください。



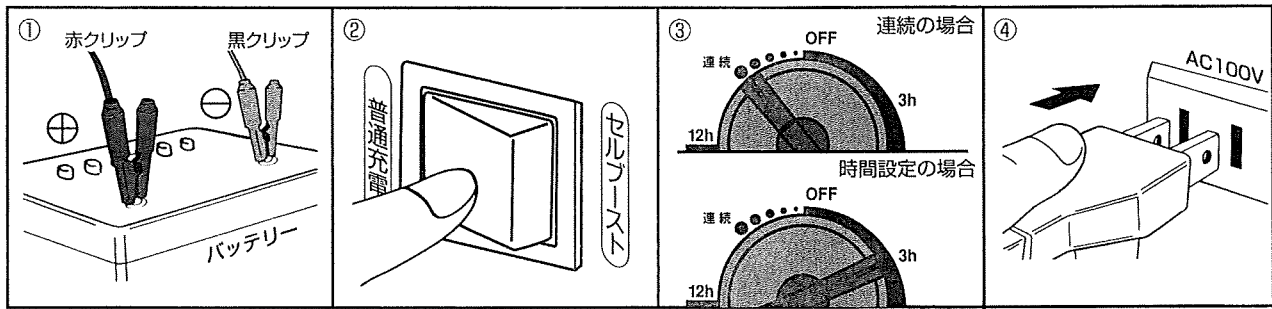
《車上普通充電》

やむを得ずバッテリーを車両に搭載したままで充電を行う場合には、必ず車両側バッテリーの⊖端子ケーブルを外してください。



B. 普通充電の操作手順

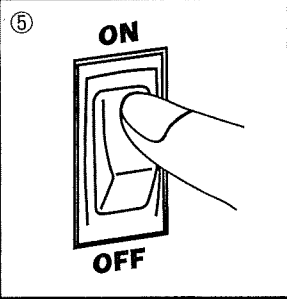
- ①準備のできたバッテリーの ⊕ 端子に充電クリップの赤色 ⊕ を、バッテリーの ⊖ 端子に充電クリップの黒色 ⊖ を容易に外れないよう確実に接続してください。
- ②本器の切替スイッチを普通充電側にセットします。
- ③タイマーを設定してください。
- ④家庭用AC100Vコンセントに電源プラグを差し込んでください。
- ⑤電源スイッチをONにしてください。充電が開始されます。



■充電レベルの確認

充電レベルランプは、赤色・黄色・緑色の全色点灯から充電が進むと赤色・黄色と順番に消灯し、最終は緑色のみ点灯する事で充電完了を表します。

	LEDレベル表示	充電内容	作業内容
充電初期	全色点灯	電流が流れすぎです。	10~20分程充電して赤色ランプが消灯しない場合は充電を中止してください。
充電中期	緑色点灯 黄色点灯	適性電流です。	そのまま充電を続けてください。
充電終期	緑色点灯	ほぼ満充電になりました。緑色LEDのみが点灯しています。	緑色ランプ点灯後、30分位充電すると満充電の状態です。それ以上の長時間充電は過充電になり危険ですのでご注意ください。



※始動補助(セルブースト)時の場合、LEDランプは点灯しません。
※電流量によりLEDがちらつく場合があります。

充電初期から緑色LEDだけが点灯する(赤色、黄色ランプが点灯しない場合)

- バッテリー容量が小さい場合。
- 充電できている(満充電)場合。(充電の必要はありません。)
- サルフェーションバッテリーの場合。

レベル表示のLEDが3色とも点灯し長時間赤色LEDが消灯しない場合

- 過放電したバッテリー、劣化・適合外バッテリーと考えられます。これらのバッテリーを充電されますと規定以上の電流量が流れ保護回路が作動して充電できない場合や故障の原因となります。

深放電放置バッテリーで充電した場合

- 放電したバッテリーを長期間放置されますと充電開始時、バッテリーは電気を受け付けず大電流が必要となり、保護のためヒューズが切れてしまいます。

※上記の異常がある場合は、バッテリーの不良が考えられます。比重計等にてバッテリーを点検してください。

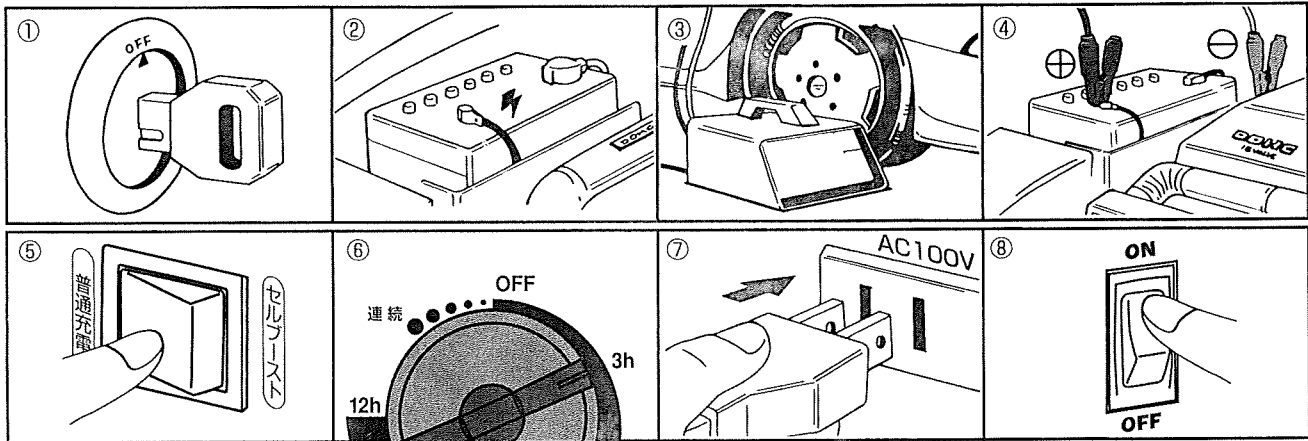
充電時間の目安 液温20℃・50%放電時のバッテリー					
適合バッテリー	〇〇B24 (20)	〇〇D23	〇〇D26	〇〇D31	〇〇E41
充電時間	約2~4h	約3~5h	約4~6h	約5~7h	約5~8h

上記「充電時間の目安」、「充電レベルの確認」のLEDのレベル表示は50%放電時のバッテリーを目安にしています。バッテリーの状態は比重計で確認してください。充電が終わりましたら D.作業の終了の手順にしたがって作業を終了してください。

C. エンジン始動補助(セルブースト)の操作手順

- 家庭用AC100Vコンセントが必要です。無理な状態でのエンジン始動は危険です。延長コード等を使用し、安全に作業を行ってください。
- ①車両のエンジンキーはOFFの位置にしてください。電装品(エアコン・ヘッドライト・オーディオ等)もOFFにしてください。
 - ②車両のバッテリーは通常搭載されたままの状態、バッテリー液口栓(キャップ)も車両側バッテリーケーブルも外さないでください。
 - ③充電器をエンジンスタート時の振動などで、動いたり落ちたりしないところに置いてください。
 - ④本器の充電器クリップ赤色 ⊕ を、バッテリーの車両ケーブル ⊕ 端子に、充電クリップ黒色 ⊖ を車両のエンジンブロックに接続してください。極性の ⊕ ⊖ を間違わず、充電クリップが容易に外れないよう確実に接続してください。
 - ⑤本器の切替スイッチを普通充電側にセットしてください。
 - ⑥タイマーを設定してください。
 - ⑦家庭用AC100Vコンセントに電源プラグを接続してください。
 - ⑧電源スイッチをONにし、10~15分充電(補充電)してください。
 - ⑨切替えスイッチをセルブースト側にセットし、

通電3秒以下・休止7秒以上で繰り返し回数**10回以下**でエンジンキーを廻して始動させてください。



セルモーターの回転が重い(遅い)状態や、エンジンがかからない時は再度⑨の操作の後、エンジンキーを廻して始動させてください。

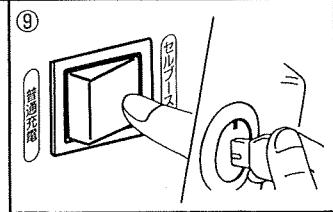
再度補充充電しても、セルモーターの回転が重い(遅い)状態や、エンジンがかからない時はバッテリーの完全放電や不良が考えられます。普通充電で充電し比重計等でバッテリーの状態を確認してください。

切替スイッチをセルブースト側の位置で充電しないでください。

エンジン始動補助(セルブースト)として使用するときは、

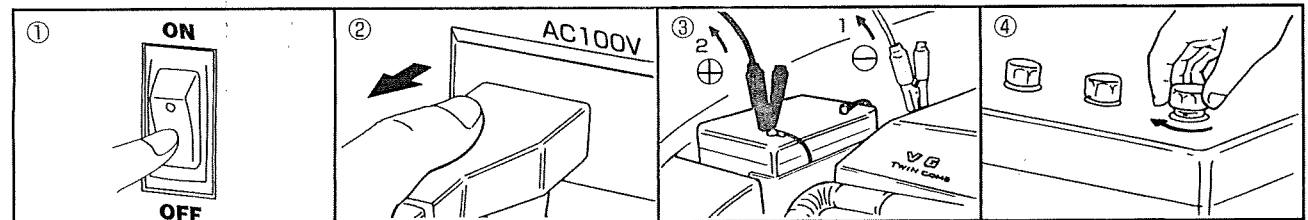
通電3秒以下・休止7秒以上で**繰り返し回数10回以下**を厳守してください。

エンジンが始動しましたら D.作業の終了の手順にしたがって作業を終了してください。

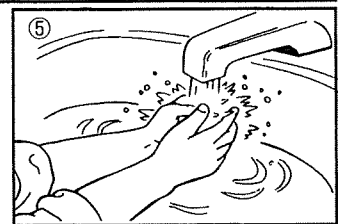
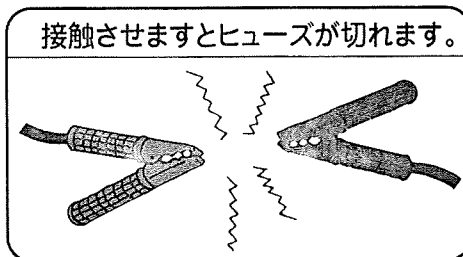


D. 作業の終了の手順

- ①電源スイッチをOFFにしてください。
- ②本器の電源プラグを家庭用AC100Vコンセントから抜いてください。電源コードは、コードを引っ張らず必ずプラグを持って抜いてください。
- ③本器の充電クリップ黒色 ⊖ をバッテリーの ⊖ 端子、又はエンジンブロックから外し、続いて充電クリップ赤色 ⊕ をバッテリーの端子から外してください。
車上普通充電の場合は、車両バッテリー ⊖ 端子のケーブルをもとの通りに配線してください。
- ④取り外したバッテリーの液口栓をすべて確実にしめてください。
- ⑤電解液が手・皮膚・衣服についた時は、速やかに多量の水で洗い流してください。



※出力側の赤コード(クリップ)と黒コード(クリップ)を接触させないでください。(右図)



(7) NGランプの点灯

まず、電源スイッチをOFFにしてください。

ヒューズ切れが発生した場合には、電源プラグをAC100Vコンセントから抜き、バッテリーの極性や操作手順を確認して、必ず定格の同じ物と交換してください。

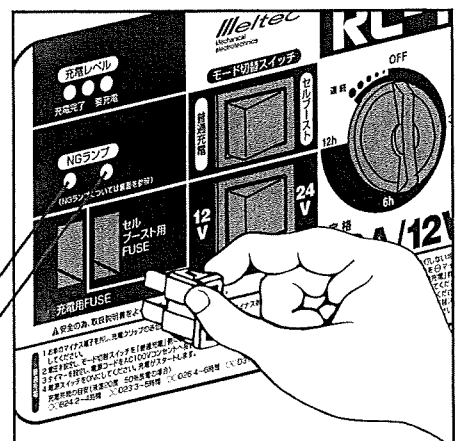
絶対にヒューズの代わりにハリガネや線ヒューズなどは使用しないでください。

ヒューズが切れた場合

カー用品専門店、量販店で同格のヒューズをご購入ください。
もし専門店、量販店で販売されていない場合は、ご購入店または弊社までお問い合わせください。

充電NGランプ

セルブーストNGランプ

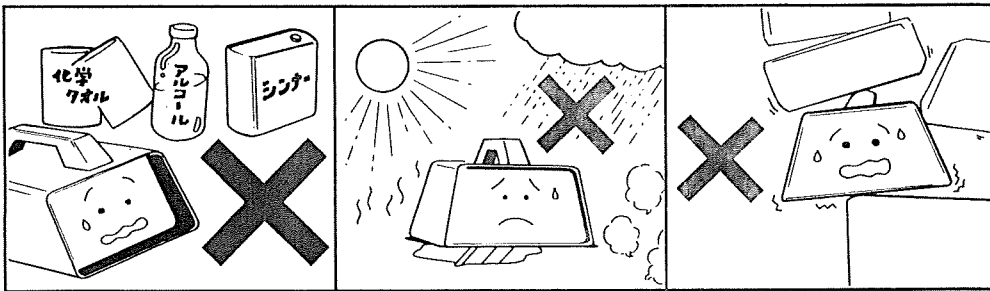


〈ヒューズ容量:充電用20A / セルブースト用 30A〉

(6) お手入れのしかたと保管方法

- お手入れのしかた
- ①本器が汚れた時は乾いた布で拭いてください。
汚れがひどい時は、水で布を湿らせよく絞った後拭いてください。
化学ぞうきん・ベンジン・アルコール・シンナー等は絶対に使用しないでください。
本体ケースの変色・変形・損傷の原因となります。
 - ②充電クリップの金属部分はバッテリー液やガスで腐食します。
ご使用後は乾いた布に機械油(ミシン油)等やグリス等を塗り、清掃してください。

- 保管方法
- ①高温・湿気・ほこり・振動の激しい場所や、水・雨等の水分のかかる場所には保管しないでください。
 - ②化学性ガスの被害の受けやすい場所には保管しないでください。
 - ③直射日光下や発熱体の近辺等高温の場所や、夏期の閉め切った車内に放置したり保管しないでください。
本体ケースの変色・変形、又故障の原因となります。
 - ④車両のトランクルーム等振動の激しい場所で保管しないでください。
やむを得ず保管する場合は、振動に注意しクッション等で保護してください。
 - ⑤重い物を乗せたり、落下しやすい場所に放置したり保管しないでください。
 - ⑥子供・乳幼児の手の届かない場所に保管してください。

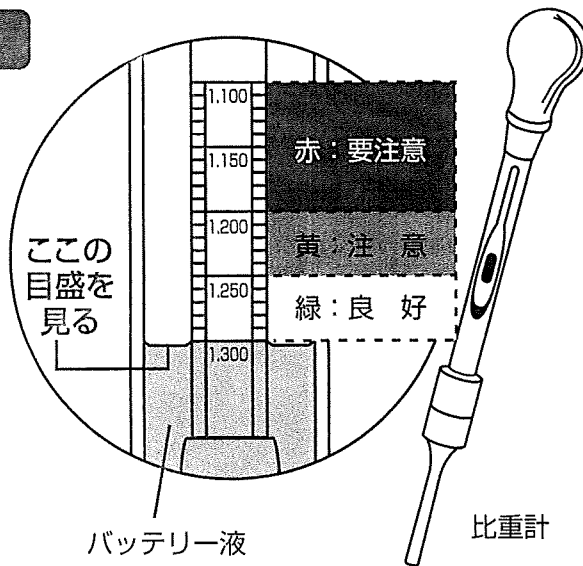


〈取扱いのご注意〉

- ・ご使用前に必ず取扱説明書をお読みください。
- ・充電する前にバッテリーが12Vか、24Vかを確認してください。
- ・充電する前にバッテリーの⊕側には赤のコードを、⊖側には黒のコードを接続してください。

バッテリー交換の目安

バッテリーの寿命は、使い方によって異なりますが、一般には2~3年とされています。バッテリーの能力の低下を実感するのは、寒い冬の朝、エンジンのかかりの悪いときです。事前にバッテリーの能力を知る方法として、比重計を使う方法があります。これはバッテリー液を吸い上げて比重を測ります。液温が20℃のとき、液の比重が1.250以上ならば正常、1.240以下になると充電が必要、1.100になると寿命にきています。



- 深放電バッテリー** 負荷をかけた時、バッテリー電圧が10.5V(12Vバッテリーの終止電圧)まで放電する状態です。すぐに充電すれば回復する見込みがあります。
- 過放電バッテリー** バッテリー電圧が10.5Vを下回った状態です。バッテリーの劣化が促され、寿命が極端に縮まります。充電状況も悪くなり、充電できない場合もあります。
- サルフェーション** 深放電後、放置し、時間がたつと内部の化学物質が結晶化し、充電を妨げてしまいます。バッテリーの劣化現象で深放電や長期間放置後、電極板上が導電性の悪い膜で覆われ充放電反応が阻害されます。結果、バッテリーの蓄電能力が低下し、容量が少なくなりバッテリーの寿命となります。(充電時間が短い、持続性が悪い等)

！ 危険

- エンジン始動補助(セルブースト)時の充電クリップの接続は、必ず次の手順で極性に注意して行ってください。
1.充電器側 ⊕赤クリップ → バッテリー ⊕端子 2.充電器側 ⊖黒クリップ → エンジンブロック
エンジン始動補助(セルブースト)中にクリップが外れるとバッテリーが過熱・爆発することがあります。
- 充電中に充電クリップの取り外しは絶対にしないでください。
 - ・バッテリーが爆発することがあります。
- 充電クリップをバッテリーから取り外す時は、電源を切って(電源プラグをAC100Vコンセントより抜いて)から行ってください。
 - ・操作手順を間違えるとバッテリーが爆発することがあります。

！ 注意

- 自動車用及び二輪車用バッテリーの充電器です。他のバッテリー充電やその他の用途では使用しないでください。
- 本器は、周囲温度0℃～40℃の範囲でご使用ください。
 - ・特に温度範囲以上では、充電器の過熱・焼損、バッテリーの液もれ・過熱・変形の原因となることがあります。
- 湿度の極端に高い場所、雨、雪等の水分のかかる場所での使用はできません。
 - ・漏電・感電、充電器破損の原因となります。
- 塩害・塵埃害・化学ガスの被害を受けやすい場所では使用しないでください。
 - ・漏電・感電の原因となることがあります。
- 直射日光下や発熱体の近辺など高温の場所で使用しないでください。
 - ・充電器が過熱・発火したり、バッテリーの液もれ・過熱・爆発の原因となることがあります。
- 車両のトランクルームなど振動の多い場所で使用しないでください。
 - ・充電器が破損し、感電・過熱・火災の原因となることがあります。
- 充電する前に、充電するバッテリーの電解液量を点検し、液面線間の中間以下に低下している場合は最高液面線(UPPER LEVEL)まで精製水を補充してください。
《開放型バッテリーへの充電の場合》
 - ・バッテリーの過熱・爆発の原因となります。
- 充電器を分解したり、改造したりしないでください。
 - ・過熱・火災・感電・けがの原因となることがあります。
- 充電器本体が濡れていないか、電源コード、充電コードなどのヒビ割れ、芯線の切れかけ、芯線の腐食がないか確認してからご使用ください。
 - ・そのまま使用されると、感電・過熱・発火の原因となることがあります。
- 電源コード・充電コードを無理に曲げたり、上に物を載せたりしないでください。
 - ・コードが破損し、感電・過熱・発火の原因となることがあります。
- 本器に重いものを載せたり、落下しやすいつところに置いて使用しないでください。
 - ・充電器の破損・落下等によるけが・感電・過熱・火災の原因となることがあります。
- 充電器本体や電源コード・充電コードの接続部に他の金属類を差し込んだり、接続したりしないでください。
 - ・感電・過熱・発火の原因となります。
- やむを得ずバッテリーを車両に搭載したままで充電を行う場合には、必ず車両側バッテリー ⊖端子のケーブルを外してください。
 - ・充電器が過熱・発火したり、バッテリーの過熱・爆発、および車両機器損傷の原因となることがあります。
- バッテリー端子が腐食していますと、接触不良で充電できませんので、紙やすり等でよく磨いてから充電クリップを接続してください。
- 車両搭載バッテリーからバッテリーケーブルを取り外す時は、バッテリー ⊖端子ケーブル → バッテリー ⊕端子ケーブルの順序で行ってください。
 - ・順序を間違えると、バッテリーが過熱・爆発することがあります。
- 電源コードは、コードを引っ張らず必ずプラグを持ってAC100Vコンセントより抜いてください。
 - ・電源コードが破損し、感電・過熱・発火の原因となることがあります。
- バッテリーを車両に取り付ける時は、バッテリー ⊕端子ケーブル → バッテリー ⊖端子ケーブルの順序で行ってください。
 - ・順序を間違えると、バッテリーが過熱・爆発することがあります。
- 使用中に地震・水害などが発生した場合には、電源プラグをAC100Vコンセントから抜き、充電クリップをバッテリーの端子から外してください。
 - ・発火の原因となることがあります。
- バッテリーを順次取り替えて充電器を連続使用することは避けてください。
 - ・充電器の過熱・発火の原因となることがあります。
- ヒューズ切れが発生しましたら、原因を取り除いてから同一定格のヒューズに取り替えて使用してください。絶対にヒューズの代わりにハリガネなどは使用しないでください。
 - ・定格以外のヒューズや代替品を使用すると、過熱・発火の原因となることがあります。
- 異常や不具合が生じた場合には、ただちに使用をやめてメーカーまたは、ご購入店にご相談ください。
 - ・そのままご使用になると、過熱・発火・感電することがあります。
- 点検・調整・修理はメーカーまたは、ご購入店に依頼してください。
 - ・お客様または、メーカー指定以外で行った調整・修理により起こったトラブルは保証対象外となり、充電器の過熱・感電・バッテリーの爆発などの原因となることがあります。
- 直射日光下や発熱体の近辺など高温の場所・湿気の高い場所・ほこりの多い場所および、化学性ガスの被害を受けやすい場所には保管しないでください。
 - ・使用中の漏電・感電・過熱・故障の原因となることがあります。
- 車両のトランクルームなど振動の多い場所に保管しないでください。
 - ・充電器が破損し、使用中の感電・過熱・火災の原因となることがあります。
- やむを得ず車両のトランクルームや車内に保管する場合は、振動に注意し、大切に保管してください。
(例えば、大きめの箱に布などをひき、クッションがわりにするなど、大切に保管してください。)
- 本器に重いものを載せたり、落下しやすいつところに保管しないでください。
 - ・充電器の破損・落下などによるけがの原因となることがあります。
- 使用後や使用しない時には、電源プラグをAC100Vコンセントから抜いて保管してください。
 - ・感電・過熱・発火の原因となることがあります。

(7) こんな時は・・・(Q&A)

故障と思われる前に?

症 状	時 期	確認してください		対処してください
① 電源スイッチのランプがつかない	電源プラグを家庭用AC100Vに接続した時	各スイッチがしっかり切り替わっていますか。		確認を行っても電源スイッチランプが点灯しない場合は、作業の終了に従って充電を中止し、弊社までお問い合わせください。
		AC100Vコンセントに100Vは流れていますか。		
② 電源スイッチは点灯するが、充電レベルが全く点灯しない。	充電開始初期	充電クリップが正しく接続されていますか。	バッテリー端子との接続不良等が考えられます。	電源プラグをコンセントから抜き、バッテリーの端子を紙ヤスリ等でみがきしっかりと接続してください。
		ヒューズが切れていませんか。(NGランプの点灯)	極性間違いや、作業手順の違いが考えられます。	バッテリーの極性や手順を確認してヒューズを交換してください。
		バッテリーは12Vのバッテリーですか。	6Vのバッテリーではありませんか。	12V・24V切替スイッチを確認ください。
		バッテリーが深放電放置バッテリーではありませんか。		「充電レベルの確認」をよくお読みください。
		切替スイッチが「セルブースト」の位置になっていませんか。		切替スイッチがセルブーストの位置では充電できません。「普通充電」の位置にしてください。
		NGランプが点灯していませんか。	作業手順の違いや、過放電バッテリーに充電した場合は考えられます。	原因を確認してからヒューズを交換してください。
③ バッテリーが復帰しない。	充電完了前 充電完了後			家庭用ACコンセントにしっかりと接続してください。
		サルフェーションを起こしている。	(完了する場合)	充電完了の状態で12時間続けて充電してください。
		バッテリーが過放電や劣化・適合外バッテリーではありませんか。	(完了しない場合)	「作業の終了」にしたがって充電を中止し、バッテリーを点検してください。
④ 始動補助(セルブースト)ができない。	始動補助 (セルブースト)時	家庭用ACコンセントに電源プラグが正しく接続されていますか。		使用目的をよくお読みの上家庭用ACコンセントに電源プラグをしっかりと接続してください。
		補充充電を十分されていますか。	ご使用方法の始動補助をよくお読みの上、補充充電を十分してください。	それでもエンジンがかからない場合は、バッテリーを点検してください。

保証条件について

●保証内容…

- ・お買い上げ日より1年間。
- ・取扱説明書に従った正常な使用状態で故障した場合。
- ・お買い上げ販売店に商品と本書をご持参提示の上、修理をご依頼してください。

●適用除外…

- 保証期間内でも、次の場合には有料となります。
- ①使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
 - ②火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、異常電圧による故障及び損傷。
 - ③消耗品及びこれに準ずる部品。(ヒューズ・接続コード等)

保証書

シートをお貼りください。

商品名: バッテリー充電器	製造番号:		
型式名: RC-100	ご購入日: 年 月 日	保証期間: 1ケ年	
〒			
ご住所:			
ご氏名: 様		電話番号: ()	
※販売店(住所・店名)			
(印)			

※販売店様ご購入欄に記入のない場合は無効になることもあります。必ずご記入ください。

大自工業株式会社

営業本部 〒582-0027 大阪府柏原市円明町1000-126 TEL.072-976-0101(代)
東京支店 〒170-0011 東京都豊島区池袋本町4-37-12-102 TEL.03-3590-6105

※本製品の仕様ならびに装備・カラーは改良の為、予告なく変更する場合があります。

eltec 輸入元 **大自工業株式会社**

営業本部 〒582-0027 大阪府柏原市円明町1000-126 TEL.072-976-0101(代)/ FAX.072-976-0105
東京支店 〒170-0011 東京都豊島区池袋本町4-37-12-102 TEL.03-3590-6105/ FAX.03-3590-0478

◎http://www.daiji.co.jp/ ◎Eメール:info@daiji.co.jp

MADE IN CHINA

2011.09